

地方公共団体名： 新潟県佐渡市

○提案内容

(1) 実現したい島のビジョン・方向性

・産業の振興を図るため、地域の特徴的な取組を推進するとともに、各産業間の振興と消費が連動した生産拡大による所得の向上、雇用機会の拡充によって生産年齢人口を維持・拡大する持続可能な社会の構築を目指す。

・持続可能で安心・安全な公共交通ネットワークを実現するため、バス交通網の維持・確保を図るとともに、地域内交通は自動運転など新たなモビリティを導入し、地域の特性や実情に応じた交通基盤を構築する。

(2) 新技術の導入により解決したい離島の課題	課題の分類
<p>【農業】</p> <p>・農業従事者の高齢化や後継者不足が進んでおり、農業生産意欲の減退による地域の活力低下が懸念されている。</p> <p>・佐渡は離島であり、その地形に沿った斜度のある狭隘な圃場が各地に点在している。このため、大型の機械が入りづらい等の難点があり、平地に比べ農業者の負担が大きい部分がある。</p> <p>【水産業】</p> <p>・水産業分野では、佐渡産の知名度は低く、単価も安値で取引されているのが現状である。神経締め等で付加価値をつけている漁業者も一部いるが、市全体の取組としては確立されていない。</p> <p>・深刻な担い手不足と高齢化により漁業者の減少は顕著。漁船数の減少や漁獲量の減少から、漁港事業の補助要件を満たさない漁港も増えている。</p> <p>【交通・モビリティ】</p> <p>・島内の公共交通機関であるバスは、自家用車の普及や少子高齢化により利用者は年々減少し、路線を維持するための行政負担は年々増加している。</p> <p>・各交通事業者もドライバーの高齢化が進み、その確保が課題であるとともに、バスやタクシーなどの台数も不足している状況にある。そのため、市街地から離れた地域には十分な交通サービスが提供できていない。</p>	<p>下記のうち、該当するものを○で囲んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通・モビリティ エネルギー 物流 防災 観光 教育 健康・医療 ○環境 ○産業 担い手確保・人材育成 その他

(3) 新技術の導入による課題解決の方向性(イメージでも可)

【農業】

農地の条件不利による大型機械導入不可は技術で解決できる可能性がある。また、農地のセンシングや水量管理等により作業の手間を減らし、少数でも農業規模を維持することができる。

- ・現場まで行って農地の状況を確認 → 農地のセンシングや水量管理により現場確認の手間を省略
- ・大型機械が入れない場所での人力による農薬散布、草刈 → ドローンや小型草刈り機等による人件費の軽減

【水産業】

担い手不足の原因のひとつは新規参入のハードルの高さである。従来の漁業には漁師の技量に依存する部分が多く、熟練の漁師の感覚を頼りとしているが、新技術の導入によってこれを軽減できる可能性がある。

- ・魚群の様子や網への入れ込み具合を経験により予測 → 漁場を管理・把握するシステムにより、出漁・網上げのタイミングを誰でも判断できる
- ・獲れた魚の品質を目利きで確認 → 品質を自動で判別できる機械を導入し品質の向上と人件費の削減を両立
- ・釣った魚を開くためのパートを採用 → 機械を導入することで作業の精度を向上しつつ人件費を削減

【交通・モビリティ】

・繁忙期に交通資源が不足する佐渡小木エリアで外国人観光客等の移動ニーズに対応するとともに、自動運転やMaaSなどの新たなモビリティサービスを通じて、新たな旅行者の誘客につなげ地域経済の活性化を目指す。

・高齢者が増加する中で、自動運転やグリーンスローモビリティは高齢者等の買い物や通院など外出を支援する手段の一つになる。

(4) その他

- ・ドローンによる肥料・薬剤の散布等、一部のスマート農業に係る取り組みはモデル事業的に既に実施している
- ・地理的条件により、IoTを導入しようとしても電波が届きづらい等の難点がある場所がある

※参考資料がある場合は適宜添付をお願いします。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
企画課 政策推進係	北見 航希	0259-63-3802	seisaku@city.sado.niigata.jp